



みんなの せんだい未来づくり 報告書

平成30年12月

1. 開催趣旨

仙台市の中長期的なまちづくりの指針である新たな総合計画の策定に向け、「仙台の未来」「未来に向けできること」を市民で話し合い、想いを共有することにより、市民がイメージする「未来の都市像」を把握し、審議会における議論に活用するとともに、計画策定過程への市民参画に向けた機運醸成を図る。

2. イベント概要

名 称	みんなのせんだい未来づくり
主 催	仙台市
日 時	平成30年(2018年)11月25日(日) 13:00から
場 所	仙台国際センター 会議棟2階 桜1・2
参加者数	118人(17歳から83歳)
募集方法	無作為抽出の市民6,000人(16歳以上)への参加案内のほか、市政だより、市ホームページ、市有施設等へ配架したチラシ等をご覧になり申し込んだ方
ファシリテーター	地域社会デザイン・ラボ代表 遠藤 智栄さん
パネリスト	○一般社団法人ワカツク 代表理事 渡辺 一馬 さん ○特定非営利活動法人STORIA 代表理事 佐々木 綾子さん ○有限会社マイティー千葉重 代表取締役 千葉 大貴 さん

3. プログラム・進行

13:00	開会、イベント趣旨説明
13:10	パネリストによるトークセッション ○一般社団法人ワカツク 代表理事 渡辺 一馬 さん 「人が育つ地域をつくる～若者に選ばれる東北へ～」 ○特定非営利活動法人STORIA 代表理事 佐々木 綾子 さん 「貧困の連鎖を断ち切り『支えられる人から』 『支える人』へと愛情が循環する社会へ」 ○有限会社マイティー千葉重 代表取締役 千葉 大貴 さん 「食と地域の次世代育成へ」
13:55	トークセッションの感想交換
14:00	休憩
14:05	話し合いの説明
14:10	第1ラウンド(話し合い) ○仙台の「よいところ」「何とかしたいところ」
14:25	席替え、情報の共有
14:35	第2ラウンド(話し合い) ○未来、30年後の仙台は、どんな仙台だったらよいでしょうか
14:50	席替え
14:55	第3ラウンド(話し合い) ○未来、30年後の仙台は、どんな仙台だったらよいでしょうか 個人ワーク①(記入) ○私が考える仙台の未来の姿
15:15	休憩
15:25	個人ワーク②(記入) ○「仙台の未来」を実現するために自分等がアクションしたいこと
15:35	ファシリテーターとパネリストによる振り返り
16:00	閉会、アンケート記入

4. トークセッション

- 仙台における地域づくりや社会課題の解決に向けて活躍する3名のパネリストによるトークセッションを実施しました。
- パネリストから、活動の概要、取組みのきっかけ、今後の展望などについてプレゼンをいただいた後、「仙台の良さや課題」をテーマにファシリテーターとのセッションを行いました。

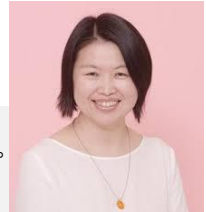
<ファシリテーター>

○地域会社デザイン・ラボ 代表

遠藤 智栄さん

プロフィール

地域社会のプランナー・ファシリテーターとして、企業・行政・NPO・自治組織と協働・連携した事業、地域社会を担う様々な人や組織が参画し企画・実践・デザインするプロジェクトなどを支援している。今年度も、酒田市役所や柴田町議会のワークショップでファシリテーターを務めるなど、各地で話し合いによる市政への市民参画を実践している。



<パネリスト>

○一般社団法人ワカツク 代表理事

渡辺 一馬さん

プロフィール

大学在学中に学生ベンチャーサークルへ参画。卒業と同時に会社法人化し、代表に就任。「世界を変える人材を数多く生み出す仕組みを創る」ことを目的にインターンシップ事業を開始した。震災後、一般社団法人ワカツクを立ち上げ、ボランティアやインターンのコーディネート事業を展開。これまで培った人材育成の手法をより洗練させ、若者たちの「問題解決」への挑戦を支援、「若者が成長できる東北」を目指している。



○特定非営利活動法人STORIA 代表理事

佐々木 綾子さん

プロフィール

大学卒業後、化粧品メーカーにて営業本部長として従事。震災後、経済的困窮家庭の中学生の学習支援を行うNPOで理事を務め、2016年には「子どもの貧困」の解決を目指す団体、NPO法人STORIAを発足。「貧困の連鎖を断ち切り、「支えられる人」から「支える人」へと愛情が循環する社会を作る」というビジョンのもと、小学生を対象にした「子どもの居場所事業」を地域と協働して行っている。

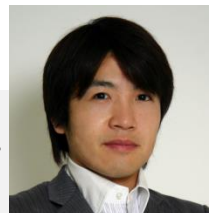


○有限会社マイティー千葉重 代表取締役

千葉 大貴さん

プロフィール

「食文化とコミュニケーションという視点で地域を結び、包括的に育てていく」ことを目指し、地域の食と人をつなぐ「東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト」「マルデミヤギ」などに多数参画。2018年夏には秋保地区において古民家を再生した観光交流拠点施設「アキウ舎」を開業し、地場産農作物を使った料理の提供や地域文化の体験イベントを行っている。



① 「人が育つ地域をつくる～若者に選ばれる東北へ～」

一般社団法人ワカツク代表理事 渡辺 一馬 さん

<活動の概要など>

- 震災後、一般社団法人ワカツクを立ち上げ、全国の若者と東北のNPOや中小企業とをつなぎ、ボランティアやインターンをコーディネートする事業を展開しています。
- 若者たちの「問題解決」への挑戦を支援し、「若者が成長できる東北」を目指しています。
- 若い頃はできるだけ失敗させないようにと、大人はしますが、社会に出ると即戦力を求められます。若者が思いっきりバットを振れるような、剛速球を投げ込んでくれる「いいバッターボックスを作りたい」と考えています。
- 仙台から東京などに多くの若者が出て行く一方で、大きい会社ではなく、面白い仕事や課題に集まる若者もいます。
- 若者が本気で人のためのお手伝いをする中で、課題を解決できる人材が東北で育ちますし、受け入れた企業にも良い影響を与えていると思っています。



<仙台の良いところ、課題について>

- 仙台市は規模もそれなりにあるので、土日はイベントが開催されていて寂しくありませんし、比較的行政サービスも充実していて、「いい感じのまち」だと思います。
- だからこそ、「困りごとをきちんと可視化して解決する」ということをせずに、困っていることを見過ごしてしまう懸念があると思います。

② 「貧困の連鎖を断ち切り

『支えられる人』から『支える人』へと愛情が循環する社会へ」

特定非営利活動法人STORIA代表理事 佐々木 綾子 さん

<活動の概要など>

- 化粧品メーカーで仕事をしていたのですが、震災をきっかけにNPO法人に参画した後、2016年にSTORIAを設立し、子供の貧困という社会課題の解決に向けた活動をしています。
- 貧困が連鎖しないよう、地域や行政と連携しながら、子供たちへ愛情が注がれ生きる力を育めるような子供の居場所づくりに取り組んでいるところです。
- 「食育」「学習サポート」「体験学習」の3事業を行っていますが、ご家庭はもちろん、地域、学校、企業、市民ボランティアと多くの方に関わっていただいています。子供たちにとっても、多くの人と関わってもらうことが、生きるうえで大きな力になると思います。



<仙台の良いところ、課題について>

- 仙台は東京と違って助け合いのコミュニティがあり、そういったところで支え合う文化がちゃんと残っているのが素晴らしいと思っています。

③ 「食と地域の次世代育成へ」

有限会社マイティー千葉重代表取締役 千葉 大貴 さん

<活動の概要など>

- 商店を営む実家を継いだ後、仙台の名店を紹介するサイトを立ち上げました。震災後は東北の被災地を中心に商品開発の仕事をしてきました。
- 仙台の地域や農業を何とかしたいという思いから、地元の旅館、ワイナリーなどから出資を受け、秋保地区で、古民家を改修したレストランをオープンさせました。
- このレストランを「食に新たな価値を加え、未来に継承する場」だと考えており、農産品の価値向上、観光促進、地域の活性化などにつなげていきたいです。



<仙台の良いところ、課題について>

- 仙台は満たされてる街。外と交流する機会がもっと必要だと感じます。
- 今後、世界的に人口増で食料不足が心配される中、都市と産地が近いというのは素晴らしいモデルだと思っています。
- ポर्टランドは自然と都市が近く、「全米一住みたいまち」と言われていますが、仙台も「日本一住みたいまち」になれるポテンシャルを秘めていると思います。



5. 話し合い

- ・ 遠藤智栄さんをファシリテーターとして、「問い(テーマ)」に沿ったワールドカフェ形式での話し合いを実施しました。
- ・ 会場には30テーブルあり、参加者は1テーブルあたり3人から5人に分られました。
- ・ ファシリテーターの問いかけのもと、各テーブルで、模造紙にメモをしながら、自由に話し合いを行いました。
- ・ 3人のパネリストも各テーブルで参加者と話し合いました。

○話し合いの進め方

○第1ラウンド

入場時に座っていたテーブルで最初の「問い」について話し合いました。

問い: **仙台の「よいところ」は？(好き、自慢、特徴)**

仙台の「何とかしたいところ」は？(物足りない、困った)

○席替え

- ・ 各テーブルで「ホスト」を1名決め、「ホスト」を残して他のテーブルに移動しました。
- ・ 移動した先で、前のテーブルではどういう意見が出たか情報を共有しました。

○第2ラウンド

席替え後、次の「問い」について話し合いました。

問い: **未来、30年後の仙台は、どんな仙台だったらいいでしょうか(1回目)**

○席替え

- ・ 最初に座っていたテーブルに全員戻りました。
- ・ 前のテーブルではどのような意見が出たか再度情報を共有しました。

○第3ラウンド

最初のテーブルで第2ラウンドと同じ「問い」について話し合いました。

問い: **未来、30年後の仙台は、どんな仙台だったらいいでしょうか(2回目)**

○個人ワーク①

- ・ グループで「未来、30年後の仙台は、どんな仙台だったらいいでしょうか」について話し合ったあと、各参加者はピンクのA4用紙に **私が考える仙台の未来の姿** を記入しました。
- ・ 休憩中、他の参加者が書いたピンクの紙を見て回りました。

○個人ワーク②

- ・ 最後に、各参加者は黄色のA4用紙に、
「仙台の未来」を実現するために自分もしくは自分以外の人たちがアクションしたいこと
を記入しました。

6. 私が考える仙台の未来の姿

- グループで「30年後の仙台はどんな仙台だったらいいか」という問いのもと、話し合いました。
- 話し合いのあと、参加者はそれぞれピンクのA4用紙に「私が考える仙台の未来の姿」を記入しました。



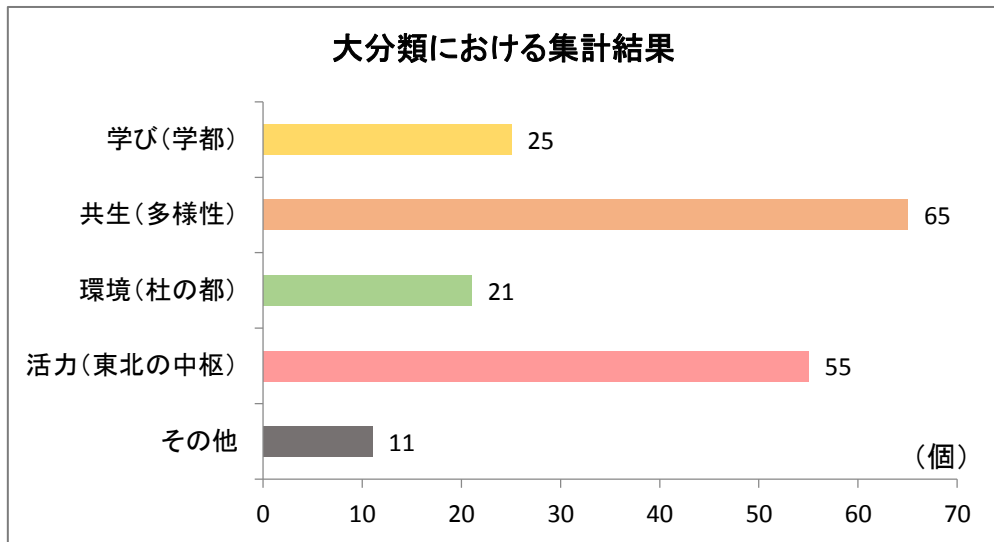
●意見の分類

- 参加者に記入した「私が考える仙台の未来の姿」を下記の表に沿って分類しました。
- 複数の分野について言及のあった意見については、分野ごとに分割しました。

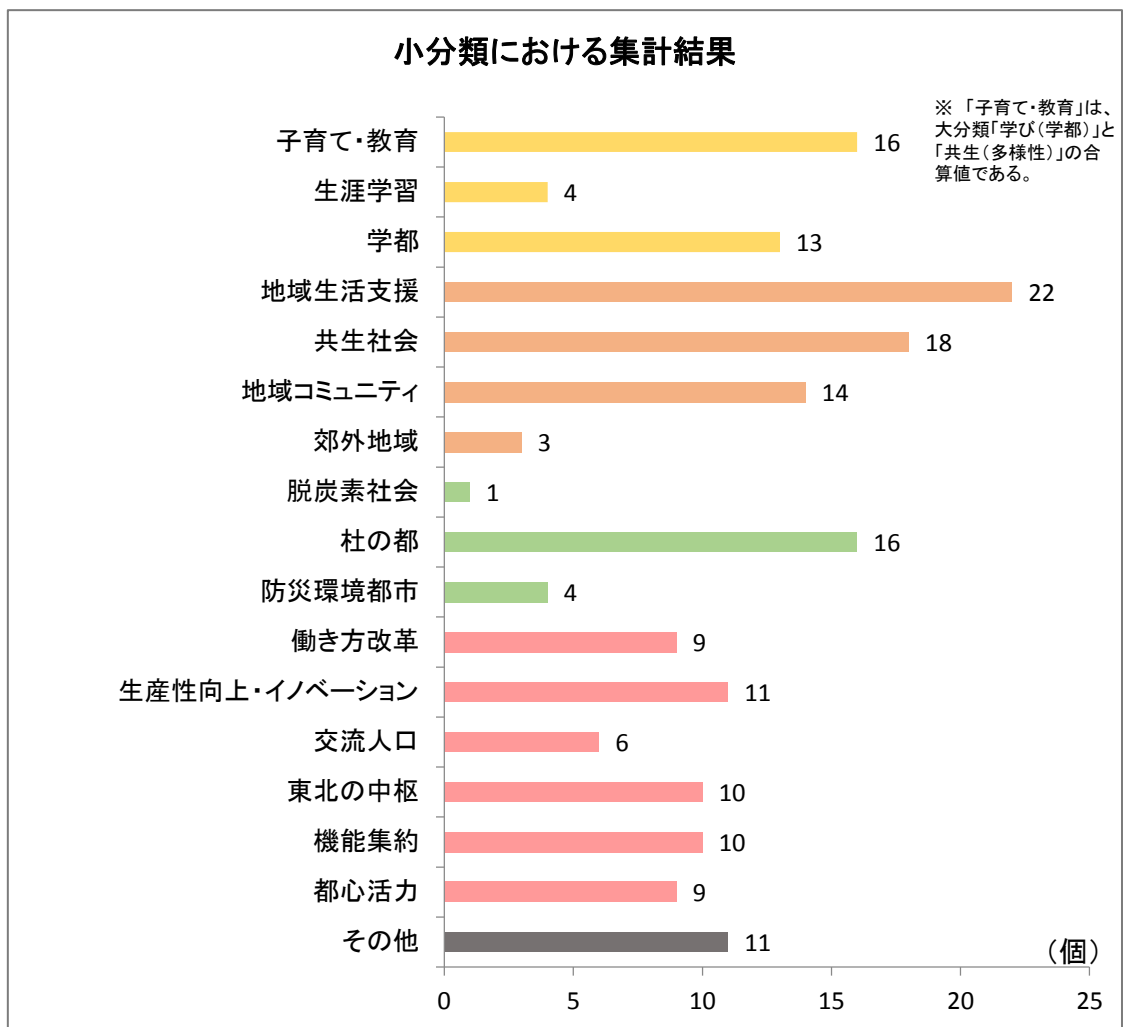
大分類	小分類	キーワード
学び (学都)	子育て・教育	子供の教育、教育支援
	生涯学習	文化の伝承
	学都	若者・学生の活躍・定着
共生 (多様性)	地域生活支援	くらし、助け合い、支え合い、心身の健康
	共生社会	多様な立場への理解、共感
	子育て・教育	子どもと地域
	地域コミュニティ	地域のつながり、地域づくり、安心安全
	郊外地域	買物・ごみ捨て難民
環境 (杜の都)	脱炭素社会	再生可能エネルギー
	杜の都	自然環境と都市の調和
	防災環境都市	防災・減災
活力 (東北の中枢)	働き方改革	様々な人の活躍、働きやすさ
	生産性向上・イノベーション	経済の活性化、挑戦の応援
	交流人口	観光、国際交流の促進、仙台ブランド
	東北の中枢	東北の中心・発信地
	機能集約	インフラ維持、交通
	都心活力	都市の活気・魅力
その他	その他	豊かさ、輝き

●分類した意見の集計

- 大分類で集計すると、一番多かったのは「共生(多様性)」に関する意見でした。
- 次いで、「活力(東北の中枢)」、「学び(学都)」、「環境(杜の都)」となっています。



- 小分類で集計すると、一番多かったのは「地域生活支援」に関する意見でした。
- 次いで、「共生社会」、「子育て・教育」、「杜の都」となっています。



●分類ごとの主な意見(抜粋)

- 先の分類ごとに代表的な意見を抜粋し、表にしました。

学び(学都)	
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> • 子供の教育格差をなくすように、場所や人材を有効活用するシステム作り。 • 創造(想像)的な思考を持ち、生きる力(行動力)のある子供を育て(子育て)、それを実現することに行政がすばらしい判断力をもってサポートしてくれる杜の都。 • 教育(子育て世代の親を含む)支援がしっかりしている仙台であってほしい。 • イジメのない仙台。
生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> • 四ツ谷用水の遺産を残した桜川が復活する。小川が街をゆきとどくビオトープのある都市になって欲しい。 • 30年後も文化を大事にし、残し伝えている都市。
学都	<ul style="list-style-type: none"> • 若者がもっと仙台を選択し、根差して働ける街。魅力的な働き口を増やす。アピールする。 • 学生と地域が助け合う仙台。仙台でいいではなく、「仙台がいい」で住みたいまちへ。 • 学生がまちづくりに参加し、よりよい仙台市を造っていく都市。 • 若者が地元で起業し、世界に貢献している仙台。

共生(多様性)	
地域生活支援	<ul style="list-style-type: none"> • 助け合いのコミュニティーがたくさんある街になりたい。 • 子どもから高齢者までみんなが心豊かに楽しく安心して暮らせるまち。 • 老人・若者の支え合いがある街作り。 • 高齢者が生き生きと暮らし、自分らしい人生を納得して生きる人が増える仙台に！！ • 一人一人がイキイキ働き、支え合う仙台！！ • 100才まで生きられる(健康で)健康都市になって欲しい。
共生社会	<ul style="list-style-type: none"> • 多様な立場(障がい者、移民、貧困など)の人々がスムーズに生活できる都市。 • ヒトが豊かに育つ社会。認め合う。共感する。成長する。多様で柔軟な社会。 • 色々なイベントに外国の方々、他地域の方々が参加できますように！ • 多様な人々をあたたかく包括する都市。 • 皆がオープンで幸せな街。
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが地域の中でいきいきと生活できる仙台！！ • 子供を地域全体で育てることのできる街。 • 子供たちがあふれる楽しい街。 • 子どもが安心して暮らすことのできる仙台。
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> • 地域コミュニティーが残っていて、(元気で)お互いに助け合える。「安全、安心」な街になってほしい。 • 行政サービスだけに頼らないコミュニティが残っている街。 • 中心部の緑が維持され、若者から高齢者までがお互いを思いやりながら、地域づくりに関わっている。 • 皆が楽しく過ごすために問題の発見から話し合い、解決まで、無関心の人がない状態で行える仙台。 • 子供の声があふれ、大人も心豊かにくらせる仙台市。子供も大人ものびのび暮らしたい。コミュニティーを大切に。
郊外地域	<ul style="list-style-type: none"> • 買物難民・ゴミ捨て難民のいない仙台。 • バスをこまかく走らせる。

環境(杜の都)

脱炭素社会	<ul style="list-style-type: none"> 強い自治性を持つため、自立したエネルギー(再エネ)と農業、漁業の自立を目指す。
杜の都	<ul style="list-style-type: none"> 緑あふれる杜の都。広瀬川の清流をバックに人が集い、笑顔あふれるまち。 美しい自然環境と調和して、心身ともいつまでも元気に生きる人たちが住む健康都市。 Slow Life Sendai 杜の都。 「杜の都」といつまでも言われるように、自然と街が一体となる都市。 世界に誇ることのできる安心、安全なまち！水環境が豊かなまち！（地下水が豊かなまち）＝杜の都が約束される。
防災環境都市	<ul style="list-style-type: none"> 防災・減災の意識の高いまち仙台。 正しく(自然災害リスクをきちんと知って行動できる)、楽しく(身近な自然に触れることができ遊べる環境がある)、自然環境と一緒に暮らせる仙台。

活力(東北の中枢)

働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人、法人(高齢者、外国人、NPO法人、シルバー人材センター)が活躍する場がたくさんあり、活躍したい人々が次々と集まる街、仙台(住みやすさにつながる)。 働きやすく住みやすい街。
生産性向上・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> 技術を上手に使いつつ、特徴を大切にしている街仙台。 アイデア企画力を持った人材を育てる文化が根付いて起業がさかん。就職先が豊富な都市にする。 皆がやりたいことを皆で応援できる街！ 先進的企業が立地して世界をリードしていく。 県外への流出を止め、仙台の良さを基盤にした経済の活性化。
交流人口	<ul style="list-style-type: none"> 30年後も、今と変わらぬ活気(人の流れ)がある姿。「仙台ブランド」を確立した姿。 海外から見ても魅力的な街、仙台。観光客ドバーツ！！ 人と人が交流する場を持つ仙台。 世界にバズる誇れるまち仙台。
東北の中枢	<ul style="list-style-type: none"> 東北の中心であり、東北6県の魅力の発信地であれ！！ 常に東北全体を意識する都市。国内5指に入る地域拠点であり続ける。 東京でも地方でもない良さをもつ、オンリーワンの仙台。 関係人口・定住人口・近隣人口3者が共に、幸せを育むまち仙台！！
機能集約	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便のよい街。 自転車も安心して走ることができる、道路整備が整っている街。 インフラの維持できる仙台。
都心活力	<ul style="list-style-type: none"> 住んでみたい都市世界一を目指したい。 行きたくなる、住みたくなる、働きたくなる大都市・仙台！ 大勢の人で溢れる活気ある仙台。 より長寿社会になるので、市街地居住者が増えて、車の入らない広い通りをのんびりゆったり歩いて、美味しい食物や美しい自然を楽しめる“まるで街中CAFE！”

その他

その他	<ul style="list-style-type: none"> 自然、歴史文化、市民が色鮮やかに輝ききらめく仙台。 色々な意味で豊かなSendai！ 市民の声が届く仙台。 誰もが夢を持って生活する仙台に！！
-----	--

7. 未来を実現するために自分等がアクションしたいこと

- 「私が考える仙台の未来の姿」を実現するために、自分もしくは自分以外の人たちがアクションしたいことを、参加者がそれぞれ黄色のA4用紙に記入しました。



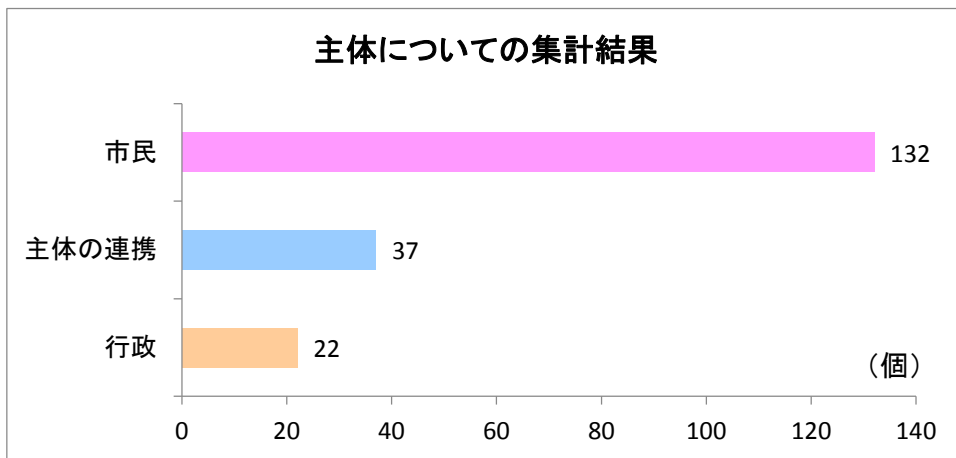
●意見の分類

- 参加者に記入した「未来を実現するために自分もしくは自分以外の人たちがアクションしたいこと」について、アクションの主体ごとに下記の表に沿って分類しました。
- 複数の分野について言及のあった意見については、分野ごとに分割しました。

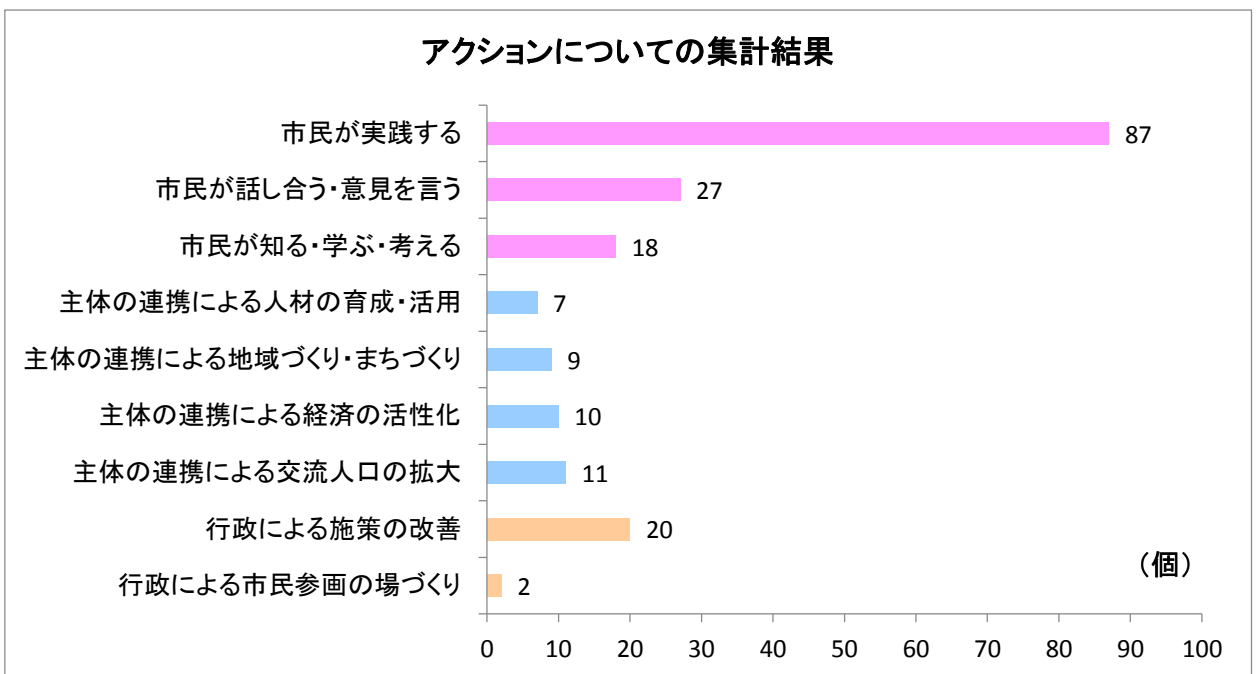
主体	アクション	キーワード
市民	実践する	地域活動、ボランティア、自分ができること
	話し合う・意見を言う	話し合いへの参加、行政への提案
	知る・学ぶ・考える	仙台を知る、考え続ける
主体の連携	人材の育成・活用	活躍の場づくり、地域と子育て
	地域づくり・まちづくり	地域包括ケア、魅力づくり
	経済の活性化	産学連携、企業への支援
	交流人口の拡大	魅力の発信、文化・伝統の伝承
行政	施策の改善	子育て支援、課題解決支援、起業支援
	市民参画の場づくり	市民の話し合いの場

●分類した意見の集計

- 主体ごとに集計すると、一番多かったのは「市民」に関する意見でした。
- 次いで、「主体の連携」、「行政」となっています。



- 次に、アクションごとに集計すると、一番多かったのは「市民が実践する」でした。
- 次いで、「市民が話し合う・意見を言う」、「行政による施策の改善」、「市民が知る・学ぶ・考える」となっています。



●分類ごとの主な意見(抜粋)

- ・ 先の分類ごとに代表的な意見を抜粋し、表にしました。

市民	
実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のコミュニティーに積極的に参加する(してみる)。そもそも身近なコミュニティーを知らないで、今後はそうしたものに目を向けてみる。 ・ 周りのみんなを地域活動に巻き込む!! 友達をたくさん作る⇒協力者。まずは自分が住んでいる地域の取り組みに進んで参加し、顔の見える関係をつくっていく! ・ 地域の活動(NPO団体、民間企業も含む)にもっと興味を持ち、当事者意識を持って参加してみる。 ・ (子供が産まれた事をきっかけに...)地域活動や学校活動に少しでも顔を出してみます!→地域活動を継承する。 ・ 一人親家庭で困っている人の助けになるボランティアをしたい。 ・ ボランティアで、地域の集まりに積極的に参加する。 ・ ボランティア等に参加することで、より深く仙台の人々と関わること。子どもに誇れる大人として振る舞うこと。 ・ アイアイキンジョパトロールなどボランティア活動を続けていく。 ・ 仕事、家庭、趣味などの場でマジメに若者の見本になるようがんばっていく! ・ 人を育てる機会により多く参加。学校や地域だけでなく、企業、行政など、色々な場面で... ・ 社会に一度出て働いて世の中のことを知り、自分ができること、やりたいことをして、人の役に立つことができるように努力する。そしてアクションを起こす!! ・ 娘や孫を地域や社会に貢献できる人材に育てる。 ・ 出来ることをお手伝いをしたい。小さいことからする。子供達に声かけをする(あいさつ)。ありがとう、すみません等出来るようにする(声がけ)。 ・ 仙台の良い所を可視化していく。 ・ 企業人として仙台で若者を育て、雇用を増やす。 ・ 地産・地消を愛用し、地域経済に少しでもプラスを! ・ 子供達に学校以外で活動できる場所を作る。 ・ 仙台の特徴(歴史、自然特に地形)の周知と継承の活動。後世の方達への参考となる資料の作成(検証)。
話し合う・意見を言う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声に出す。市に働きかける。本日のような機会があれば積極的に参加する。声を上げる。意見を言う。行政も寄りそって欲しい。 ・ 参加する。計画づくりとかイベントとか意見を言える場とか。 ・ 今回のようなイベントに参加し、行政に対して色々な意見・提案を行っていく。 ・ もっと仙台の良い所を見つける。多くの人と未来を話し合って共有する。 ・ 今の状況を伝えること(行政、友人、地域)。助けてほしいことはきちんと声をあげる。 ・ 仙台の良さを伝えていきたい。 ・ 困り事の発掘(課題の洗い出し)を集約する活動の一員になり、小さな改善を行政に提案したい。
知る・学ぶ・考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別に活動している組織、団体を知り、自分が役に立てる場を探したい。 ・ まつり・イベントに参加する、街歩きする→仙台を知る。 ・ 自分自身としては、考えることをやめないこと。これから過ごしやすくするため、なるため、できることを考え続けること。すぐできなくても良い。 ・ 受け身で生活せず、「私はこう考える(する)」と能動的になることを意識する。 ・ 様々な年代、職種の方々とコミュニケーションを取り、考え方を学んでいく。仙台市に住む人々にとって(自分も含めて)何が大きかを考える。



主体の連携

人材の育成・活用	<ul style="list-style-type: none"> • 学校を中心とした地域住民と子供の触れ合う機会を作る→空き教室の活用、公民館の活用、大学との連携。 • 地域毎に特性のある課題解決のために、活躍する場を創出していく。 • 定年退職した高齢者の仲間作りを支援して、活躍できる場を提供する。 • 子どものジュニアリーダーを増やしてゆく。 • 小さなうちから地域的なものの学習、体験できる機会を増やす。
地域づくり・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 地域包括ケアシステムを構築すること。自助(自分でできることを積極的に実施特に健康に関して)、互助(無理をしないでお互いに助けられる関係を普段から作ることが必要)、公助も必要である。 • 性的少数者も障害者の方もたくさんの色々な人が「普通」に過ごせるように。 • 産・官・学・民の4者が人口流出を食い止める魅力ある「仙台」を創る、共創の場をつくる！！景観、観光視点←行政と他市町村、県連携←行政、学術機関。イベントの活性化。
経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> • 市や団体、報道機関が協力して、知られていない企業をもっとピックアップ・PR。 • 今注目されているライフワークバランスの実現を仙台市でバックアップ。皆で取り組む流れをつくる。 • 東北大学と企業がコラボして新商品の開発や改善を図っていく。行政がコーディネートする。若者が企業を立ち上げる時に支援を厚くする。 • 地元企業と学生による事業展開。
交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> • 仙台市内外、外国の方を問わず、様々な方を対象として仙台の文化・伝統を知ってもらう。 • インバウンド増加に対応するため、魅力をブラッシュアップし、発信力を高める。 • 観光ルートがない。つくるべき。協力したい。 • プロスポーツチームの地域密着支援。 • 全国か世界の若者が集まるイベントを定例化する。 • 仙台が日本で一番良いと言い続けられるように、色々な場での情報発信。

行政

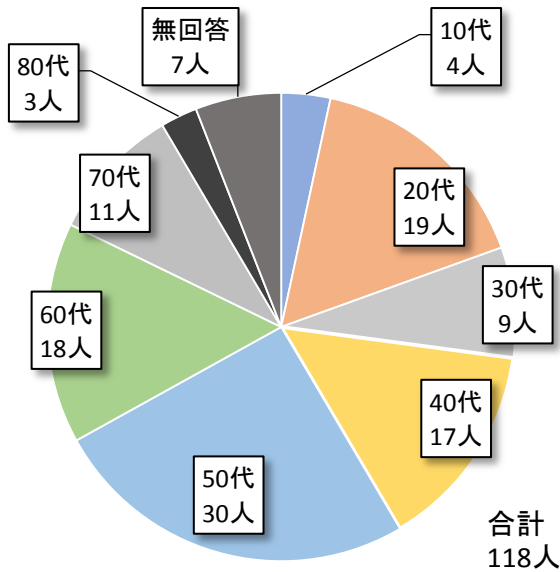
施策の改善	<ul style="list-style-type: none"> • 何かやってみたい、やりたいことはあるけれど、「やり方」や「具現化」がわからない人たちがその方法を知る機会を提供してほしい(有料で)。 • 行政には地域の困り事を把握してほしい(買物困難、ゴミ出し難民、移動手段の不足など)。行政で把握したことを、民間も含めて解決策を一緒に考えてほしい。 • 子育て世代への支援の充実(保育園、育休取得の推奨、緊急時対応など)。 • 若者が地元で起業しやすくする仕組み作り。 • 起業しやすい町として若い起業家が集まる環境を作る。 • お金を出さずに知恵を出す仙台市になって欲しい。
市民参画の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 行政関係の方々には本日のような話し合いの機会を度々設けて欲しい。 • 市役所の人がもっと「せんだい未来づくり」について区ごとに機会を与えてほしい。また、仙台市の現状、仙台市とは？を教える。



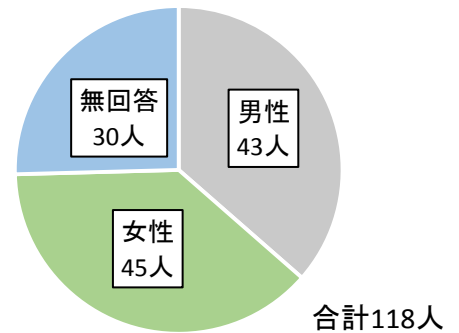
8. アンケート集計結果

- ・ イベント終了後、参加者の皆さんにアンケートを記入していただきました。

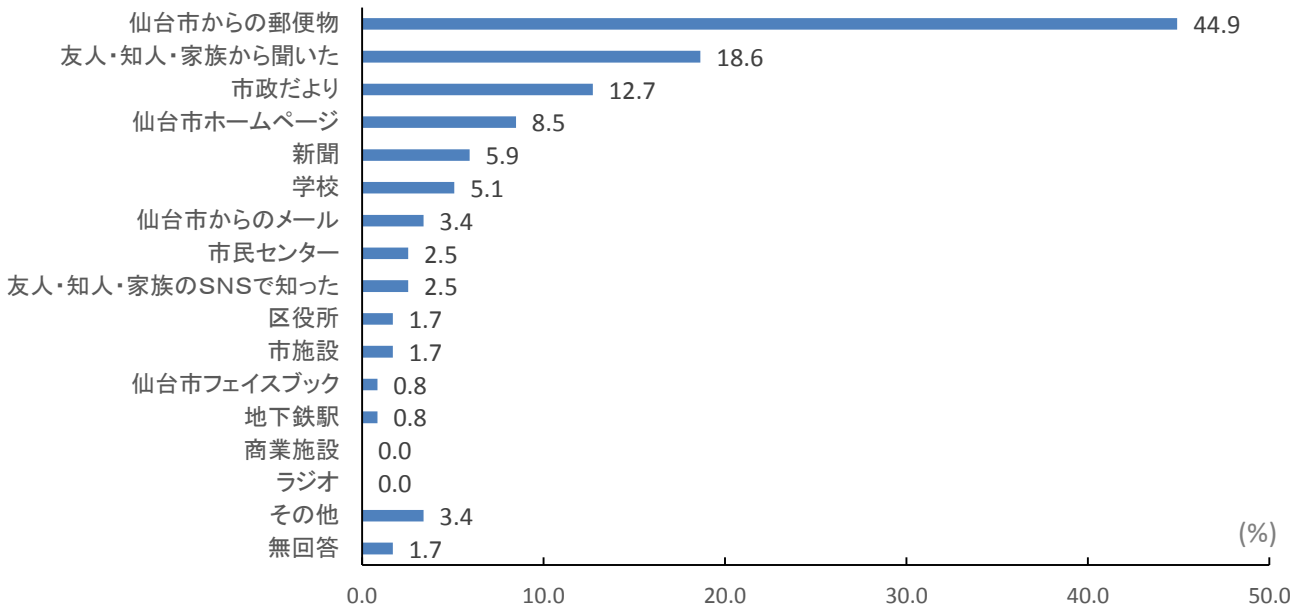
●年齢



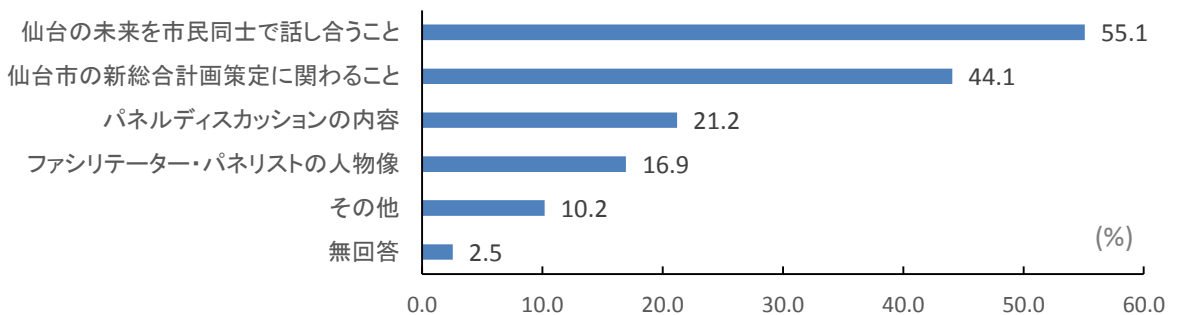
●性別



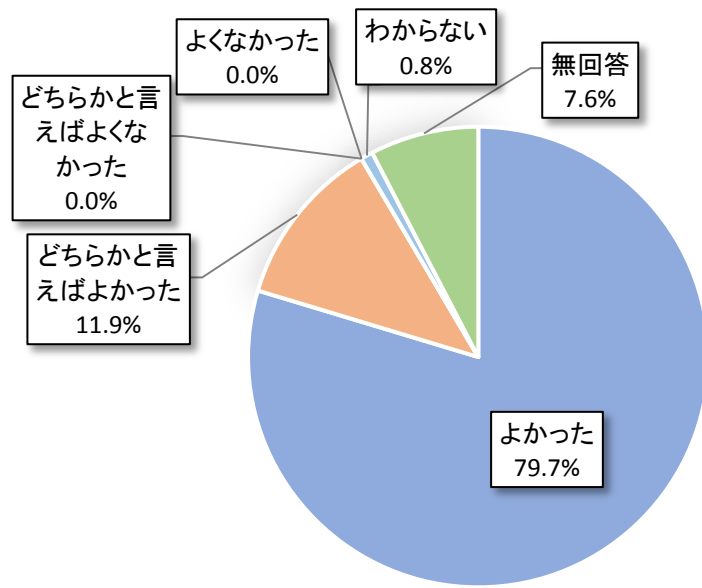
●本イベントをどこで知りましたか(複数回答可)



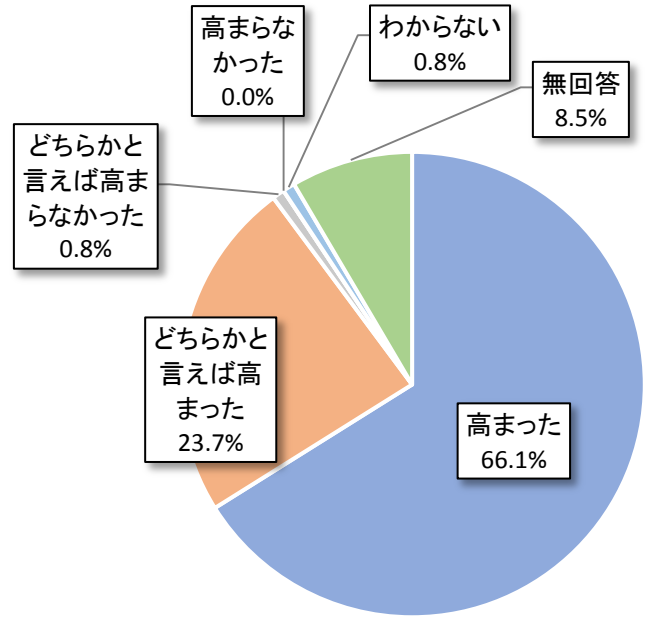
●本イベントのどういうところに興味があってお越しになりましたか(複数回答可)



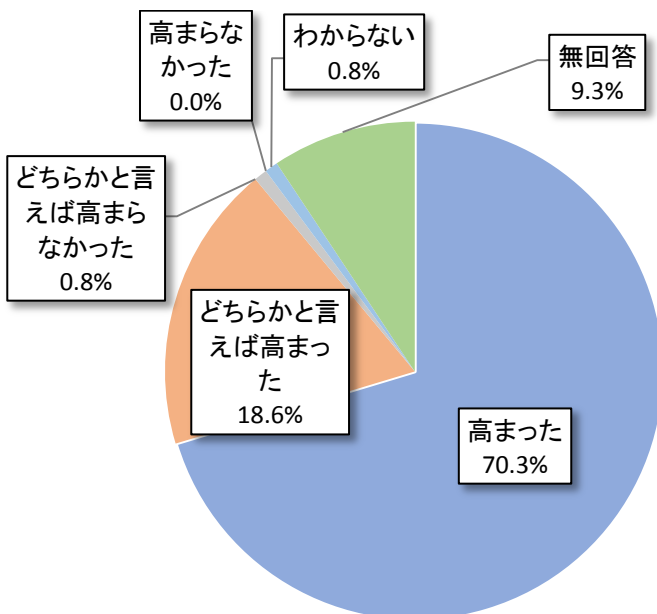
●本イベントに参加してみたいかがでしたか



●仙台市の総合計画について興味や関心は高まりましたか



●仙台の未来について、興味や関心は高まりましたか



●今後、仙台市の総合計画を考へてみるイベントがあれば、参加してみたいですか

